

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-512414(P2005-512414A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-550497(P2003-550497)

【国際特許分類】

H 04 N 5/45 (2006.01)

H 04 N 7/01 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/45

H 04 N 7/01 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のクロック領域から第2のクロック領域にビデオ・データを変換する第1のサンプル・レート変換器と、

前記第1のサンプル・レート変換器により生成された制御信号に応答して、前記第2のクロック領域から前記第1のクロック領域に前記ビデオ・データを変換する第2のサンプル・レート変換器と、

を備える、ビデオ信号処理システム。

【請求項2】

前記第1のクロック領域が、非直交ピクセル領域を含み、前記第2のクロック領域が、直交ピクセル領域を含み、前記直交ピクセル領域において前記第1のサンプル・レート変換器から前記ビデオ・データを受け取り、それに対して処理動作を実行するプロセッサを備え、

前記プロセッサが、前記第1のサンプル・レート変換器により生成された前記制御信号に応答して、前記第1のサンプル・レート変換器と前記第2のサンプル・レート変換器の間のデータ転送を制御する、請求項1に記載のビデオ信号処理システム。

【請求項3】

前記プロセッサにより実行される前記処理動作により、ピクチャ・イン・ピクチャ機能が利用可能になる、請求項2に記載のビデオ信号処理システム。

【請求項4】

前記非直交ピクセル領域から前記直交ピクセル領域にピクチャ・イン・ピクチャ・データを変換し、前記直交ピクセル領域における前記ピクチャ・イン・ピクチャ・データを前記プロセッサに出力する第3のサンプル・レート変換器を備える、請求項3に記載のビデオ信号処理システム。

【請求項5】

前記第2のサンプル・レート変換器が、前記第1のサンプル・レート変換器により生成された前記制御信号に応答して、周波数補償を実行する位相コントローラを備える、請求項1に記載のビデオ信号処理システム。

**【請求項 6】**

前記第1のサンプル・レート変換器および前記第2のサンプル・レート変換器にクロック信号を供給するクロック信号発生器を備える、請求項1に記載のビデオ信号処理システム。

**【請求項 7】**

前記直交ピクセル領域から前記非直交ピクセル領域に前記ビデオ・データを変換するとき、前記制御信号が、前記第1のサンプル・レート変換器により生成された位相制御信号を含む、請求項1に記載のビデオ信号処理システム。

**【請求項 8】**

非直交ピクセル領域から直交ピクセル領域にビデオ・データを変換するサンプル・レート変換手段と、

前記直交ピクセル領域から前記非直交ピクセル領域に前記ビデオ・データを変換する逆サンプル・レート変換手段と、、を備え、

前記逆サンプル・レート変換手段が、前記直交ピクセル領域から前記非直交ピクセル領域に前記ビデオ・データを変換するときに、前記サンプル・レート変換手段により生成されたタイミング信号を利用する、ビデオ信号処理システム。

**【請求項 9】**

前記直交ピクセル領域において前記サンプル・レート変換手段から前記ビデオ・データを受け取り、それに対して処理動作を実行する処理手段を備える、請求項8に記載のビデオ信号処理システム。

**【請求項 10】**

前記処理手段が、前記サンプル・レート変換器と前記逆サンプル・レート変換手段とのデータ転送を制御するために、前記サンプル・レート変換手段により生成された前記タイミング信号を利用する、請求項9に記載のビデオ信号処理システム。

**【請求項 11】**

前記処理手段により実行される前記処理動作により、ピクチャ・イン・ピクチャ機能が利用可能になる、請求項9に記載のビデオ信号処理システム。

**【請求項 12】**

前記非直交ピクセル領域から前記直交ピクセル領域にピクチャ・イン・ピクチャ・データを変換し、前記直交ピクセル領域における前記ピクチャ・イン・ピクチャ・データを前記処理手段に出力する第2のサンプル・レート変換手段を備える、請求項11に記載のビデオ信号処理システム。

**【請求項 13】**

前記逆サンプル・レート変換手段が、前記サンプル・レート変換手段により生成された前記タイミング信号に応じて、周波数補償を実行する位相制御手段を備える、請求項8に記載のビデオ信号処理システム。

**【請求項 14】**

前記サンプル・レート変換手段および前記逆サンプル・レート変換手段にクロック信号を供給するクロック手段を備える、請求項8に記載のビデオ信号処理システム。

**【請求項 15】**

前記逆サンプル・レート変換手段が、前記直交ピクセル領域から前記非直交ピクセル領域に前記ビデオ・データを変換するときに、前記サンプル・レート変換手段により生成された位相制御信号を利用する、請求項8に記載のビデオ信号処理システム。

**【請求項 16】**

非直交ピクセル領域から直交ピクセル領域にビデオ・データを変換するためにサンプル・レート変換器を使用するステップと、

前記直交ピクセル領域から前記非直交ピクセル領域に前記ビデオ・データを変換するために逆サンプル・レート変換器を使用するステップと、、を含み、

前記逆サンプル・レート変換器が、前記直交ピクセル領域から前記非直交ピクセル領域に前記ビデオ・データを変換するときに、前記サンプル・レート変換器により生成された

タイミング信号を利用する、ディジタル・ビデオ・システムにおいてデータを処理する方法。

【請求項 17】

前記直交ピクセル領域において前記ビデオ・データに対する処理動作を実行するステップを含む、請求項16に記載のディジタル・ビデオ・システムにおいてデータを処理する方法。

【請求項 18】

前記処理動作により、ピクチャ・イン・ピクチャ機能が利用可能になる、請求項17に記載のディジタル・ビデオ・システムにおいてデータを処理する方法。

【請求項 19】

第2のサンプル・レート変換器を使用して、前記非直交ピクセル領域から前記直交ピクセル領域にピクチャ・イン・ピクチャ・データを変換するステップを含む、請求項18に記載のディジタル・ビデオ・システムにおいてデータを処理する方法。

【請求項 20】

前記逆サンプル・レート変換器を使用して、前記サンプル・レート変換器により生成された前記タイミング信号に応じて周波数補償を実行するステップを含む、請求項16に記載のディジタル・ビデオ・システムにおいてデータを処理する方法。

【請求項 21】

クロックを用いて、前記サンプル・レート変換器および前記逆サンプル・レート変換器にクロック信号を供給するステップを含む、請求項16に記載のディジタル・ビデオ・システムにおいてデータを処理する方法。

【請求項 22】

前記逆サンプル・レート変換器が、前記直交ピクセル領域から前記非直交ピクセル領域に前記ビデオ・データを変換するときに、前記サンプル・レート変換器により生成された位相制御信号を利用するステップを含む、請求項16に記載のディジタル・ビデオ・システムにおいてデータを処理する方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ビデオ信号処理システムおよびディジタル・ビデオ・システムにおいてデータを処理する方法